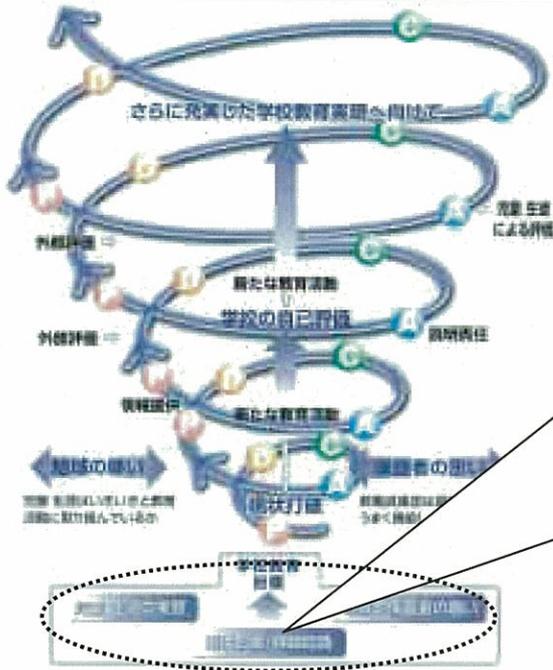
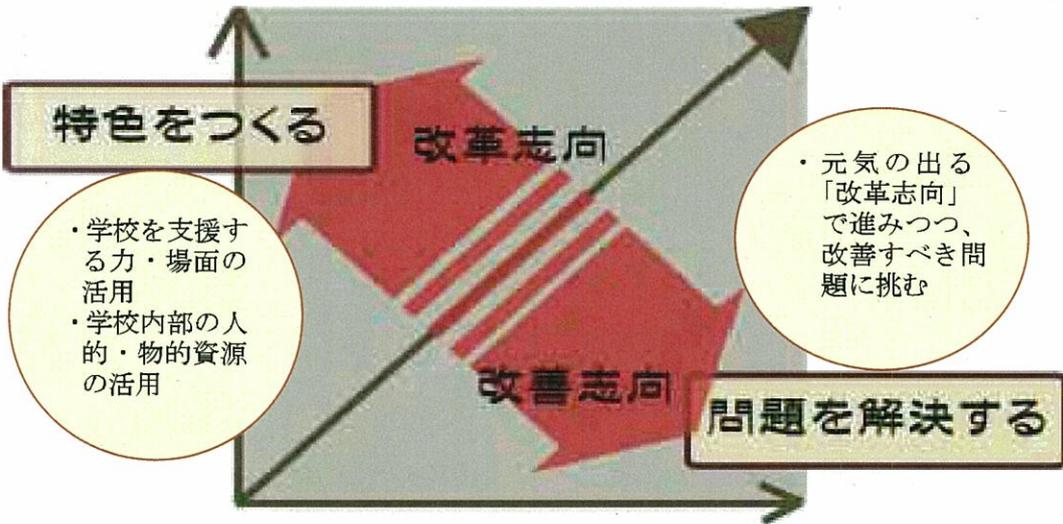


Ⅲ 学校評価の進め方

1 学校の現状をしっかりと把握



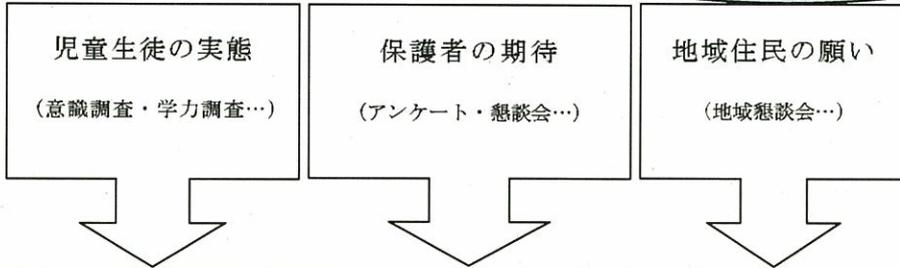
まずは、学校の「めざす姿」を明確にしなければ評価もできません。
 そのためにも、児童生徒や地域の実態、学校内外の環境等を分析し、学校の置かれている現状をしっかりと把握することがスタートです。
 さらに、めざす姿と現状との差を見据え、「学校の特色づくりや問題解決に向けて、何が課題となるのか。どう取り組んでいくのか。」ということを教職員が共有しながら取り組んでいきましょう。



- 実践への視点**
- 児童生徒、保護者、地域住民等の願いや期待を把握しているか。
 - 児童生徒を取り巻く教育環境を把握しているか。
 - 教職員の資質・力量や特性を把握しているか。
 - 学校のこれまでの教育活動や児童生徒の実態を把握しているか。
 - 学校がこれから取り組むべき課題が明確にされているか。

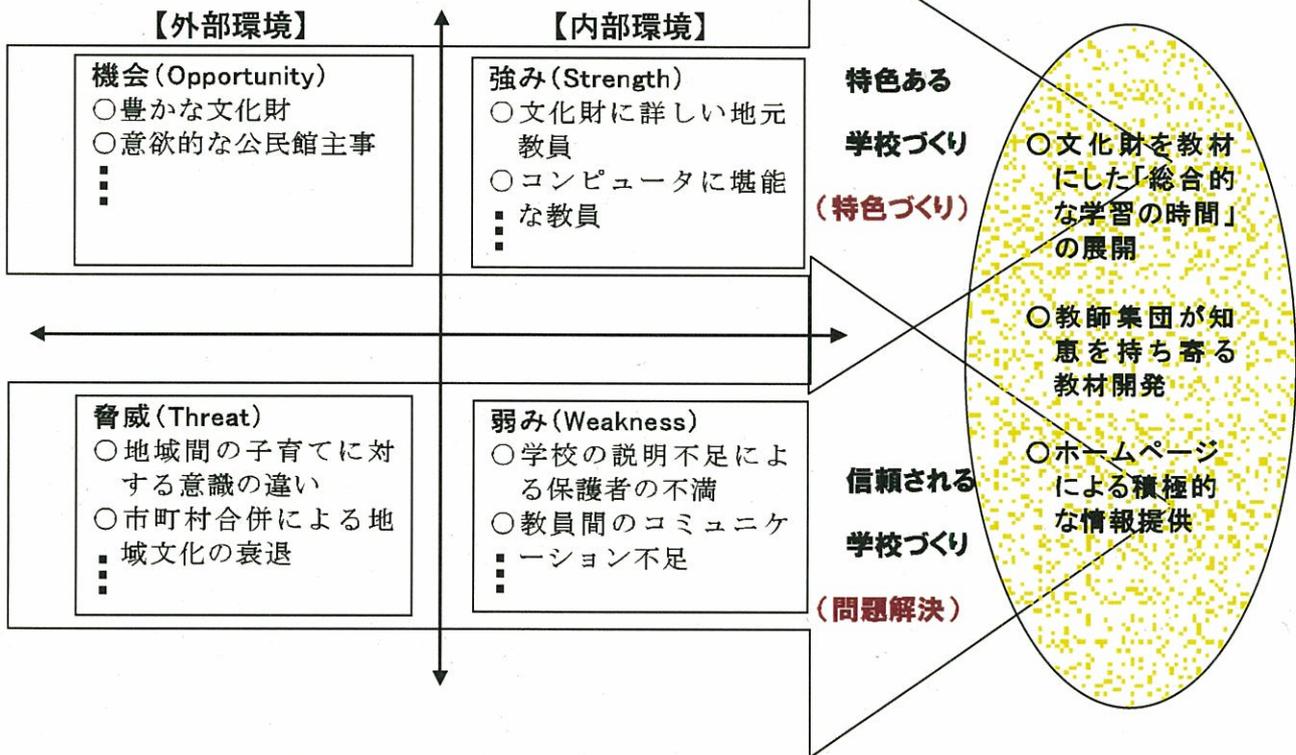
例:内外環境を分析し、学校の特色づくりへ

【ポイント】現状把握のために情報を整理！
自校の強みを積極的に活用し、弱みを克服！

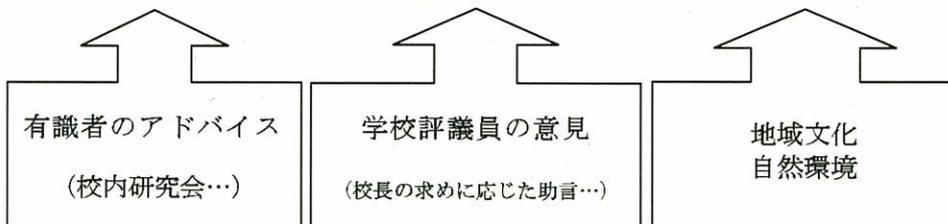


学校に寄せられる様々な期待や情報を整理してみましょう。

《SWOT分析の活用》※SWOT分析とは、学校を取り巻く環境を分析する手法



学校の資源として活用できるものを考えてみましょう。



同窓会・地域の自治会・公民館・校医・保育所・大学・他の学校・商工会・図書館
 教育センター・教育研究会・老人会・子供会・児童相談所・社会福祉協議会・民生委員
 教育委員会・スポーツ少年団・地域のサークル・企業…